

今年度も、くらなび は消費者の自立を支援します！



令和3年度 福井県消費生活センター委託事業 担い手養成講座「くらしの基本セミナー(10回連続講座)」をオンラインで、毎週水曜日の午前中、第7回まで開催しました。

食の未来・SDGs・情報リテラシー・防災・家計管理・生前整理・消費者トラブルなど多彩なテーマで、消費生活についての知識を広め、周囲にも伝えられる消費者教育のリーダー育成をめざします。

9月1日 ● 開講式 第1回『消費者市民社会』



「より良い地域や社会を作るため 今私たちにできること」

講師: 福井県安全環境部 県民安全課 水谷友梨氏



一人一人の消費行動が地域や社会に与える影響やエシカル消費について教えていただきました。消費者教育や消費者トラブル防止の啓発に携わっている消費者行政の取組みについても お話いただきました。



福井県消費生活センター所長 中社敏朗氏に開講のご挨拶をいただきました。



9月8日 ● 第2回『食の未来とSDGs』



「未来を変えるフードテクノロジー これからの食の安全安心」

講師: 福井大学 名誉教授 仁愛大学 名誉教授 犬塚學氏



コロナ禍により明るみになった食料システムの課題や食の視点から考えるSDGs・食の未来を変えるフードテクノロジーについて解説していただきました。



9月15日 ● 第3回『情報を見極める力』



「AI・IoT・5Gが彩る未来 情報を正しく安全に活用する力」

講師: 仁愛大学 人間学部 コミュニケーション学科 准教授 安彦 智史氏



AI・IoT、そして5Gなど情報社会の未来について、総務省の動画を見せていただきながら、これからの社会やくらしがどう変わるのかをイメージしました。また、サイバー空間をめぐる脅威の情勢と対策についても教えていただきました。



9月22日 ● 第4回『防災事情のホント』



「災害はやってくる！ 防災確認ポイント 迅速かつ適切な避難行動とは？」

講師: 一般社団法人 防災ジャパン 代表理事 横田義弘氏

「災害時はどこに誰と逃げるのか」「逃げるまでのタイムラインを作る」など、過去の災害や講師自身の水害の体験をもとに、防災時に役立つ情報をお話いただきました。



→ 防災時に役立つ
ポータブルガスヒーター



↑ ガスコンロとホットサンドメーカーを使って簡単お好み焼を作りました！